



## 4月30日(金),各学年ごと遠足に行くことができました。

4月の後半ごろから広島県内あるいは大竹市内でも新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、感染防止対策を十分にしながら遠足に行くことができました。朝から、どの子もうれしそうな表情で登校しているのを見ながら学校行事の大切さを改めて感じました。

行先は、1年生と6年生が校区内の栄公園、2年生は和木町のあけぼの公園、3年生は小方にある亀居公園、4年生は小瀬川沿いの防鹿水源地、5年生は山登りも兼ねて蜂が峯公園にそれぞれ徒歩で行きました。お昼ごろ、急に雨が降りたいへんでしたが、どの学年も何とか学校へ帰ることができました。新しい学年がスタートして少しずつ友達が増えている時期にこうした楽しい行事が行えたことは、たいへん有意義だったと思います。

5月に入ってから広島県に緊急事態宣言が出され、5月30日(日)の運動会が7月の体育参観日として延期されたように、今後の行事もどうなるかわかりませんが、できるだけ感染対策をしながら学校行事等を実施したいと考えています。

## 1人1台タブレットを使いながら主体的な学びを進めています。

昨年度末に導入された1人1台タブレットを使って、どの学年も学習に活用しています。使い方は様々で、写真を撮って記録したり、インターネットで検索したり、復習のドリル問題を解いたり子供たちは抵抗感なく使い始めています。

この導入にあたっては、教師側も研修をしたり環境を整えたりと準備をしてきましたが、その取組は現在進行形で、先日も効果的な活用法について情報交流をしたところです。

内容によっては、子供たちの方が詳しく、お互いに教え合う場面も見られ、今後ますますタブレットが子供たちの主体的な学びに役立ちそうです。

今年度、本校では「大竹のまちに愛着をもち、大竹のまちを支える人づくり」をめざして生活科や総合的な学習の時間の充実を進めていこうと考えています。

コロナ禍ではありますが、生活・総合を中心に子供たちの主体性が高まるような取組を進めてまいります。

